

2024(令和6)年度

# 男女共同参画に関する市民意識調査

〈概要版〉

— 報 告 書 —

郡 山 市

## 目 次

### I 2024(令和6)年度郡山市男女共同参画に関する市民意識調査 概要

#### 第1章 調査の概要

|          |   |
|----------|---|
| 1 調査目的   | 1 |
| 2 調査対象者等 | 1 |
| 3 調査内容   | 1 |
| 4 回答状況等  | 1 |
| 5 回答者の属性 | 2 |

#### 第2章 調査結果の概要

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1 男女平等意識について          | 5  |
| 2 人権について              | 7  |
| 3 家庭生活について            | 8  |
| 4 女性活躍について            | 9  |
| 5 就業について              | 11 |
| 6 男女の働き方と仕事と生活の調和について | 12 |

### 本報告書の見方について

- 1 比率はすべて百分率(%)で表示し、表示単位未満を四捨五入し、単位未満の数値を調整した。そのため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- 2 本文や図表中の選択肢の標記は、短縮・簡略化している場合がある。
- 3 資料において、国(内閣府)及び福島県が実施した調査結果との比較を行った。  
なお、比較した調査結果は、次のとおりである。

【国(内閣府)の調査】「男女共同参画社会に関する世論調査」[2022(令和4)年11月実施]

調査対象：全国 18歳以上の日本国籍を有する男女 5,000人(個別面接調査)

【福島県の調査】「男女共同参画・女性の活躍促進に関する意識調査報告書」[2019(令和元)年11月実施]

調査対象：福島県内に居住する20歳以上の男女 2,000人(郵送による自記式調査)

2024(令和6)年度

郡山市男女共同参画に関する市民意識調査

## 第1章 調査の概要

この章では、調査の目的や調査対象及び方法、調査内容、回答者の数や属性について、掲載しています。

## 1 調査目的

この調査は、2018（平成30）年4月にスタートした「第三次こおりやま男女共同参画プラン」が2025（令和7）年度に終了することから、男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握し、「第四次こおりやま男女共同参画プラン」策定に向けた基礎資料とするため実施する。

## 2 調査対象者等

|         |                                                  |
|---------|--------------------------------------------------|
| 年 度     | 2024（令和6）年度                                      |
| 調 査 対 象 | 市内在住18歳以上の男女 3,000人（男女各1,500人）                   |
| 抽 出 数   | 住民基本台帳からの年代、地域を考慮した無作為抽出                         |
| 調 査 方 法 | 郵送による配布及び回収、インターネットによる電子申請                       |
| 調 査 期 間 | 2024（令和6）年7月29日～8月31日<br>※ただし、期限後の9月末日到達分まで集計した。 |
| 回 答 率   | 33.1%                                            |

## 3 調査内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 男女平等意識
- (3) 人権
- (4) 家庭生活
- (5) 女性活躍推進
- (6) 就業
- (7) 仕事と生活の調和
- (8) 防災
- (9) 本市の取り組み
- (10) 意見・感想【自由回答】

## 4 回答状況等

| 性別    | 男性    | 女性    | その他 | 性別無回答 | 総数    |
|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 返 戻 数 | 7 件   | 5 件   | —   | —     | 12 件  |
| 回 答 数 | 454 件 | 531 件 | 4 件 | 4 件   | 993 件 |
| 送 達 率 | 99.5% | 99.7% | —   | —     | 99.6% |
| 回 答 率 | 30.3% | 35.4% | —   | —     | 33.1% |

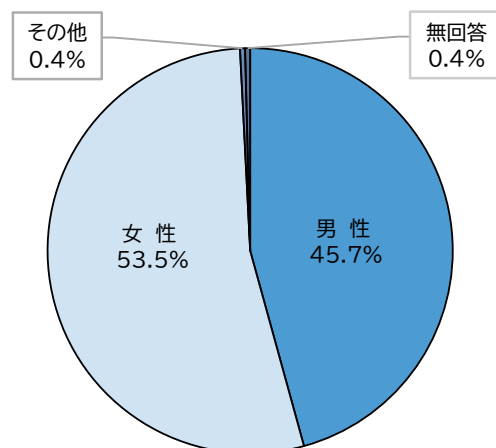
※集計では、問11～13の設問については性別を「その他」「性別無回答」に分けて掲載し、それを除く設問では、性別「その他」を「性別無回答」に合計した上で掲載しています。

## 5 回答者の属性

### (1) 性別（性自認）

問1

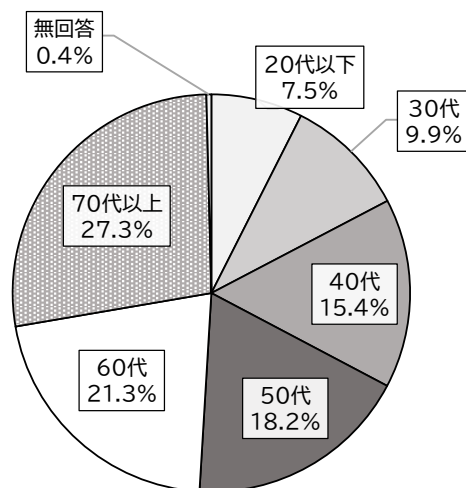
|     | 基数（人） | 構成比（％） |
|-----|-------|--------|
| 男 性 | 454   | 45.7%  |
| 女 性 | 531   | 53.5%  |
| その他 | 4     | 0.4%   |
| 無回答 | 4     | 0.4%   |
| 計   | 993   | 100.0% |



### (2) 年齢別

問2

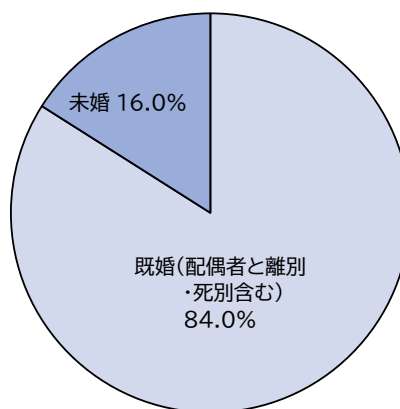
|       | 基数（人） | 構成比（％） |
|-------|-------|--------|
| 20代以下 | 74    | 7.5%   |
| 30代   | 98    | 9.9%   |
| 40代   | 153   | 15.4%  |
| 50代   | 181   | 18.2%  |
| 60代   | 212   | 21.3%  |
| 70代以上 | 271   | 27.3%  |
| 無回答   | 4     | 0.4%   |
| 計     | 993   | 100.0% |



### (3) 結婚等（事実婚含む）

問3

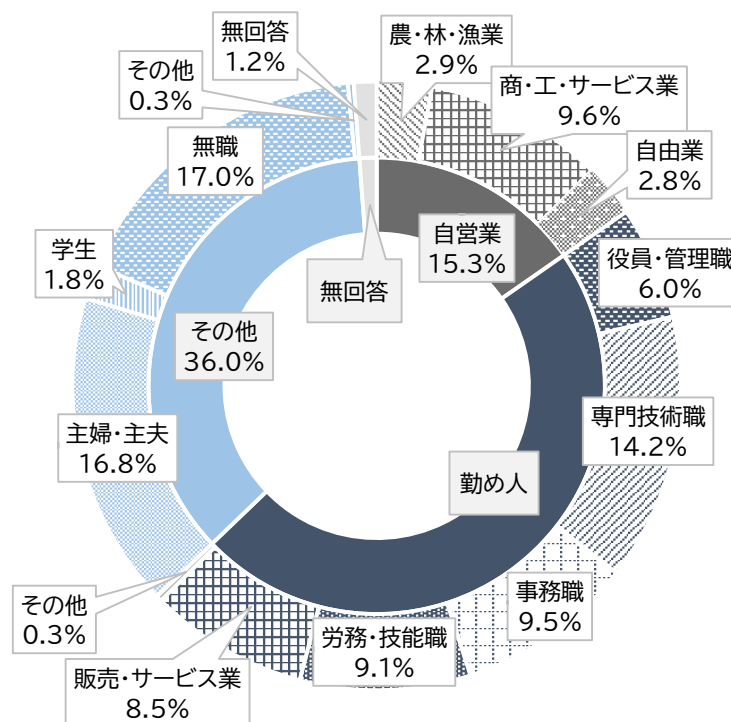
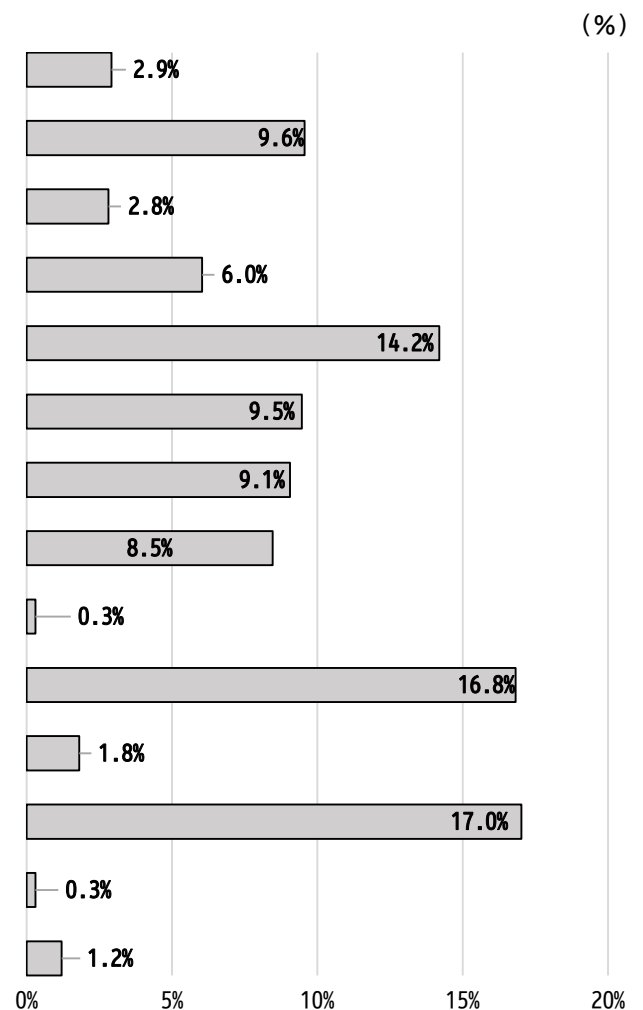
|                 | 基数（人） | 構成比（％） |
|-----------------|-------|--------|
| 既婚（配偶者と離別・死別含む） | 834   | 84.0%  |
| 未婚              | 159   | 16.0%  |
| 無回答             | 0     | 0.0%   |
| 計               | 993   | 100.0% |



## (4) 職業

問 4

|     | 業種等       | 基数 (人) | 構成比 (%) |
|-----|-----------|--------|---------|
| 自営業 | 農・林・漁業    | 29     | 2.9%    |
|     | 商・工・サービス業 | 95     | 9.6%    |
|     | 自由業       | 28     | 2.8%    |
| 勤め人 | 役員・管理職    | 60     | 6.0%    |
|     | 専門技術職     | 141    | 14.2%   |
|     | 事務職       | 94     | 9.5%    |
|     | 労務・技能職    | 90     | 9.1%    |
|     | 販売・サービス業  | 84     | 8.5%    |
|     | その他       | 3      | 0.3%    |
| その他 | 主婦・主夫     | 167    | 16.8%   |
|     | 学生        | 18     | 1.8%    |
|     | 無職        | 169    | 17.0%   |
|     | その他       | 3      | 0.3%    |
|     | 無 回 答     | 12     | 1.2%    |
|     | 計         | 993    | 100.0%  |



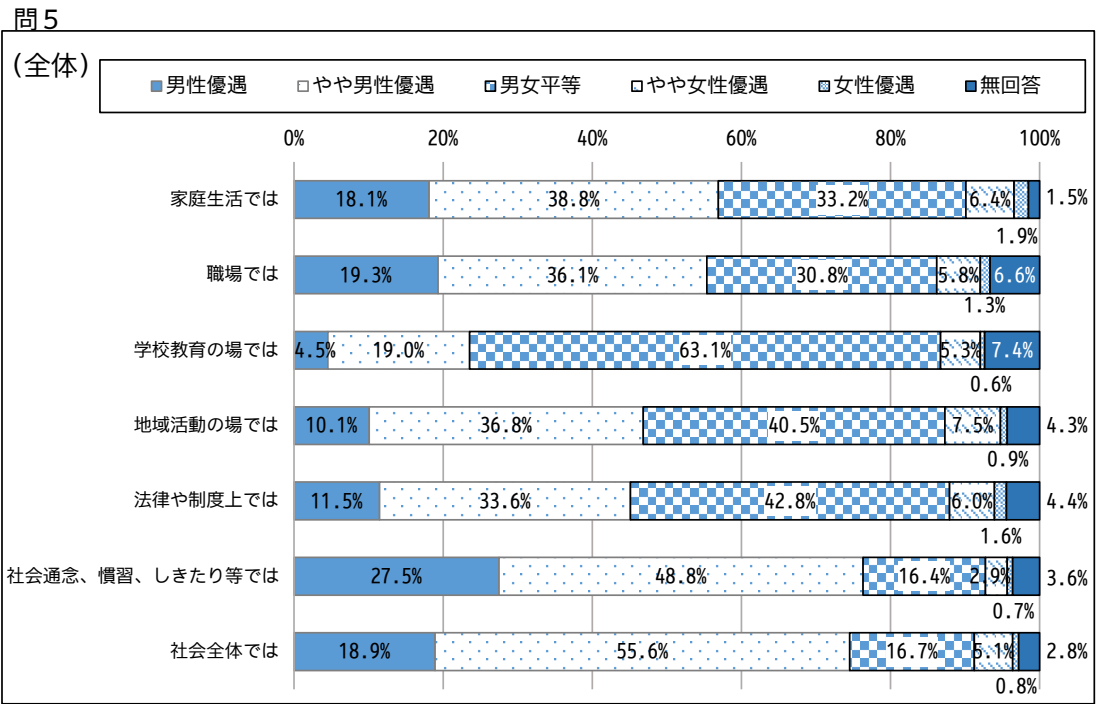
## 第2章 調査結果の概要

この章では、分野ごとに調査の目的や調査対象及び方法、調査内容、回答者の数や属性について、掲載しています。

# 1 男女平等意識について

「家庭生活」、「職場」、「学校教育の場」、「地域活動の場」、「法律や制度上」、「社会通念、慣習、しきたり等」の各分野及び「社会全体」における男女の地位の平等感について

男女の地位の平等感について、「男性が優遇」又は「やや男性が優遇」と回答した割合は、「社会通念、慣習、しきたり等では」が76.3%と最も高く、「家庭生活では」が56.9%、「職場では」が55.4%といずれも5割を超えているが、「学校教育の場では」は23.5%と低く、63.1%が「男女平等」と回答している。

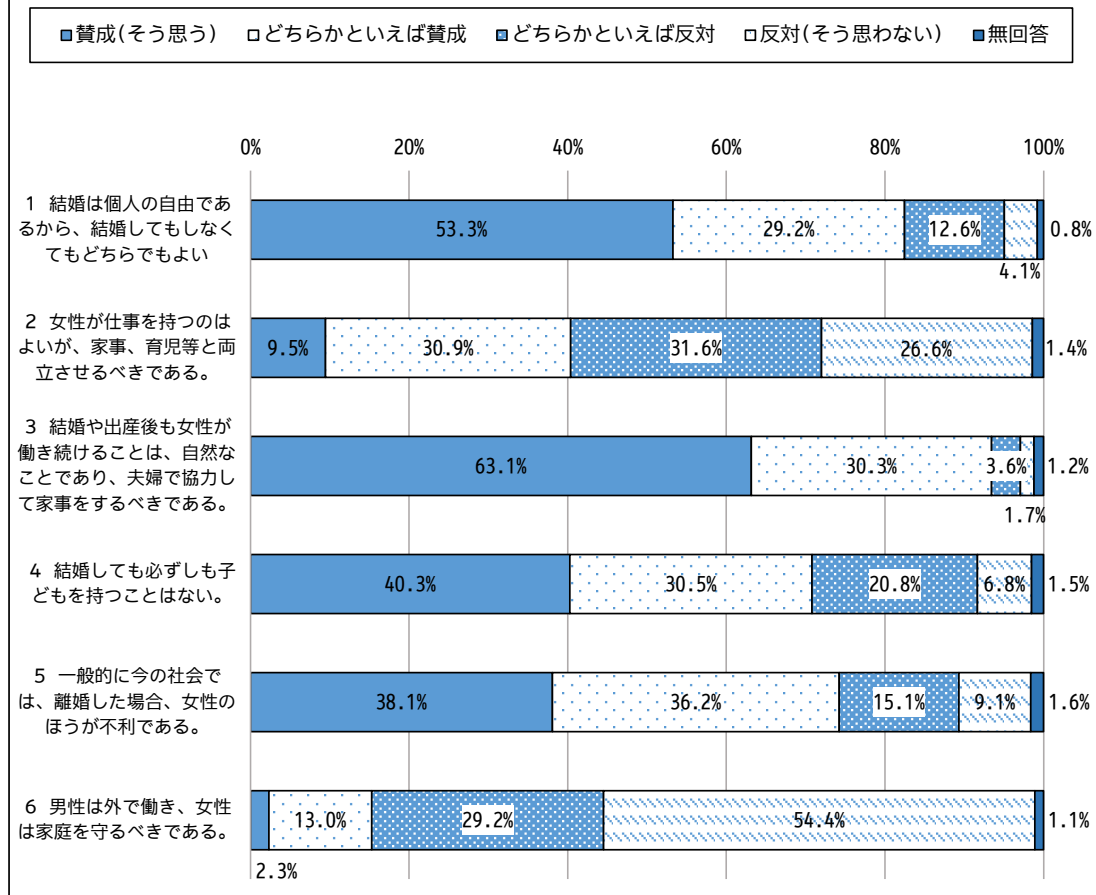


## 結婚、家庭、離婚等の考え方について

結婚、家庭、離婚の考え方について、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、「3 結婚や出産後も女性が働き続けることは、自然なことであり、夫婦で協力して家事をするべきである」が93.4%と最も高く、「1 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」は82.5%、「5 一般的に今の社会では、離婚した場合、女性の方が不利である」は74.3%といずれも7割を超えているが、「6 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」は、83.6%が「反対」又は「どちらかといえば反対」と回答している。

### 問6

(全体)



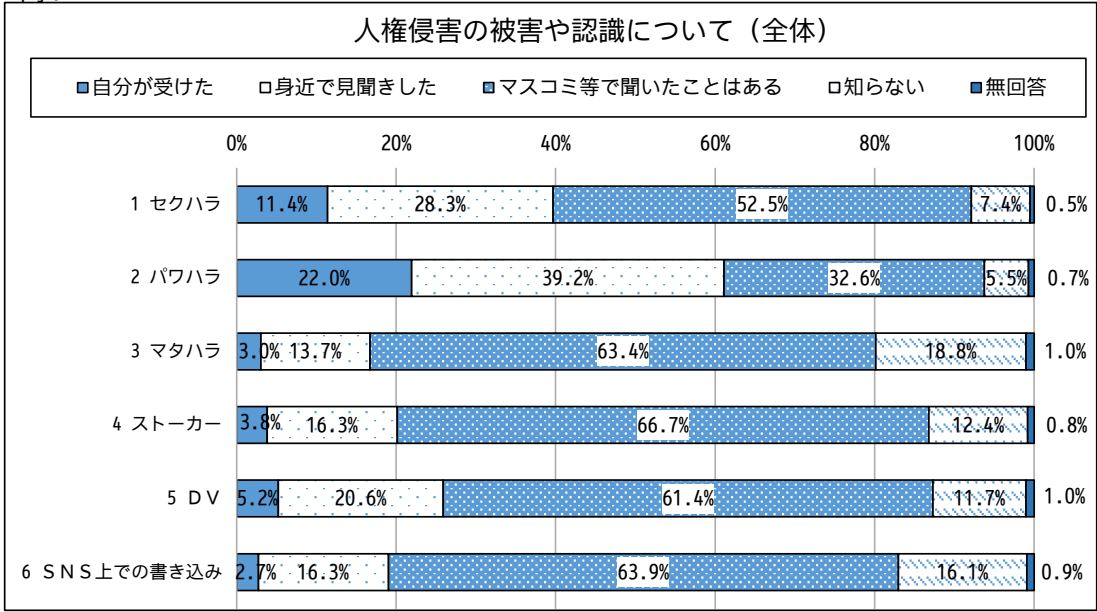
## 2 人権について

### 人権侵害の被害や認識について

人権侵害の被害や認識について、「自分が受けた」又は「身近で見聞きした」と回答した割合は、「2 パワハラ」が61.2%と最も高く、次いで「1 セクハラ」が39.7%と続いた。

一方、「3 マタハラ」は、「自分が受けた」又は「身近で見聞きした」と回答した割合が16.7%と、他の言葉と比較すると低い。

問7

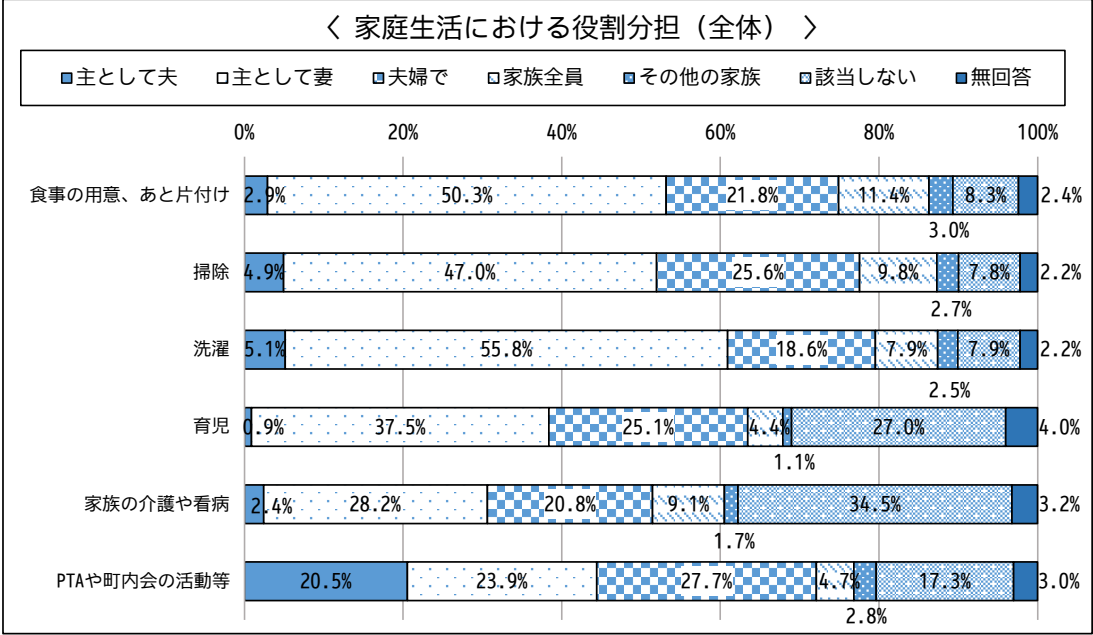


### 3 家庭生活について

#### 家庭生活における家事等の役割分担について

家庭生活における役割分担については、「食事の用意、あと片付け」「洗濯」が「主として妻」と回答している割合が最も高く、5割を超えている。「掃除」「育児」「家族の介護や看病」も「該当しない（対象者がいない等）」を除くと、主として妻が行っている割合が高い。

問18



## 4 女性活躍について

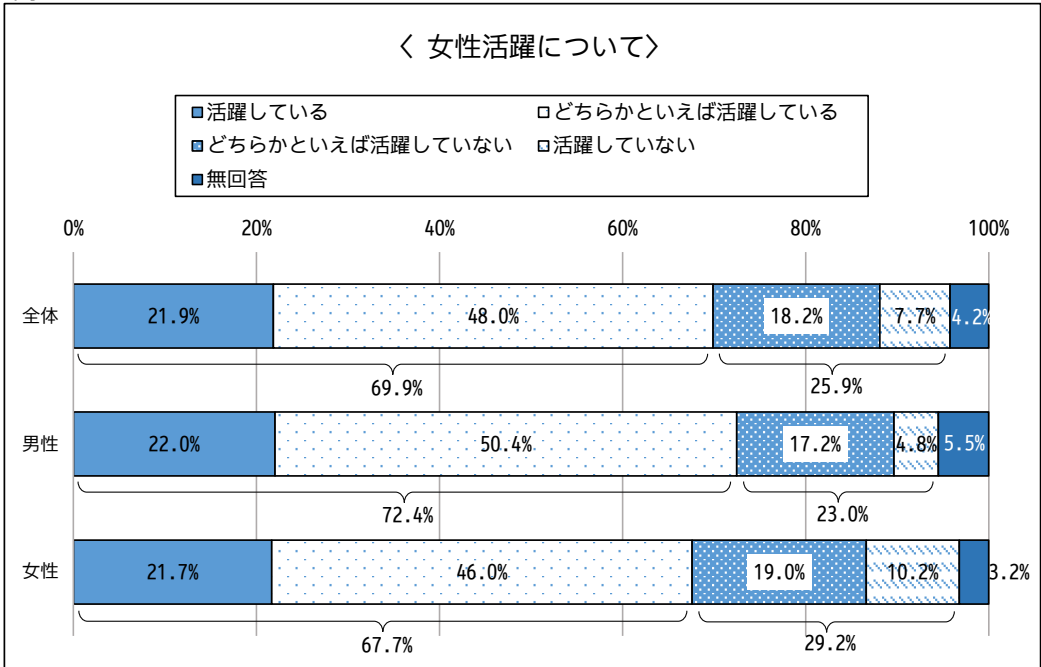
### 女性活躍に関する意識とその理由について

「活躍している」又は「どちらかといえば活躍している」と回答した割合は、69.9%、「どちらかといえば活躍していない」又は「活躍していない」と回答した割合は25.9%となり、約7割は仕事や地域活動で「活躍している」と感じている。

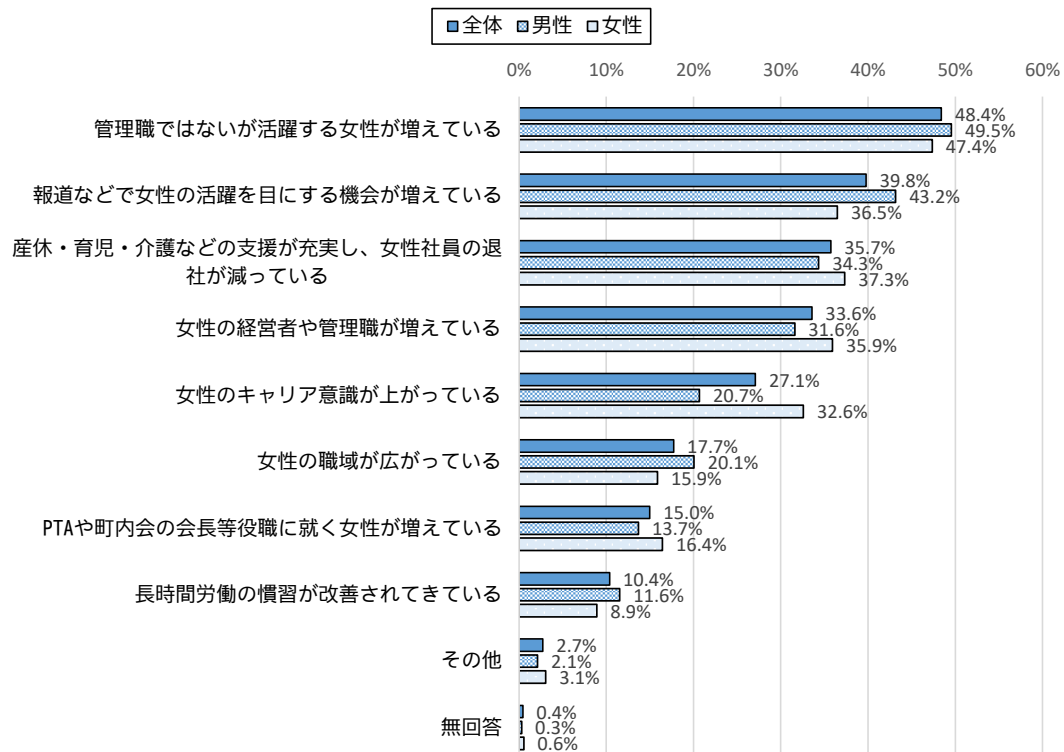
性別では、「活躍している」又は「どちらかといえば活躍している」と回答した割合は、男性が72.4%、女性が67.7%となり、男性の方が女性が活躍していると感じている割合が高い。

また、活躍していると感じる理由は、男女ともに「3 管理職ではないが活躍する女性が増えている」と回答した割合（男性49.5%、女性47.4%）が最も高く、活躍していないと感じる理由は、男性は「7 男性優位の考え方が変わっていない」が37.4%で最も高く、女性は「7 男性優位の考え方が変わっていない」「6 出産・育児などのため、男性に比べキャリア形成が難しい」がともに41.3%で最も高い。

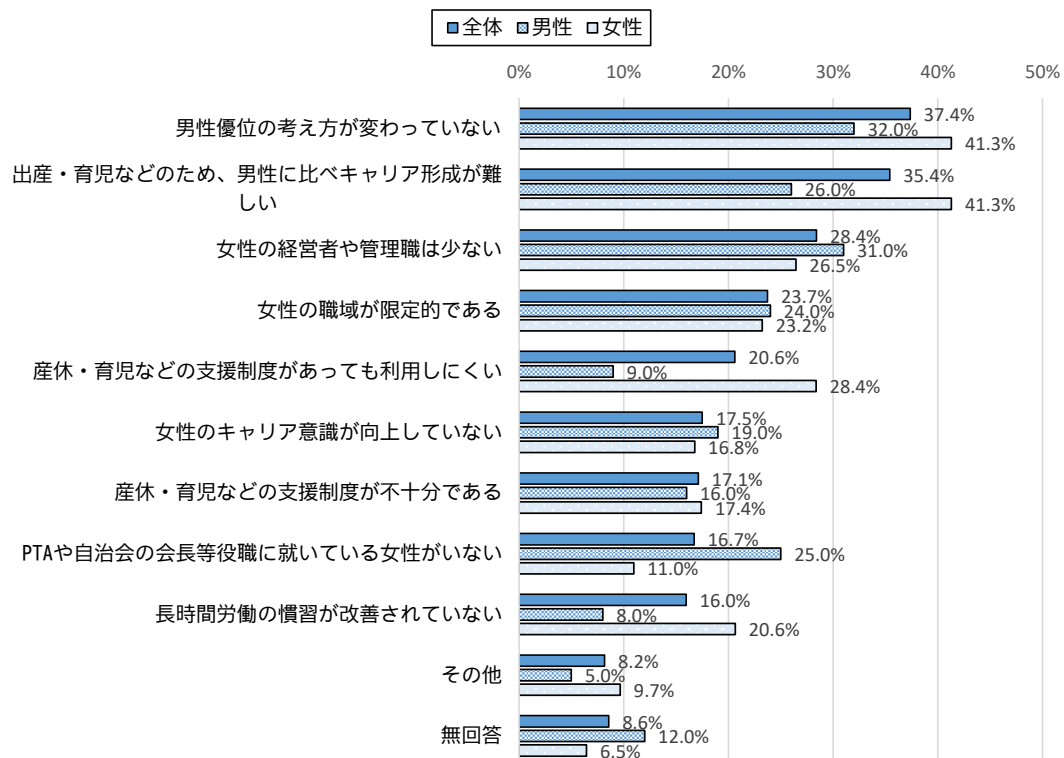
問19



### く 活躍していると感じる理由は何ですか 〉



### く 活躍していないと感じる理由は何ですか 〉



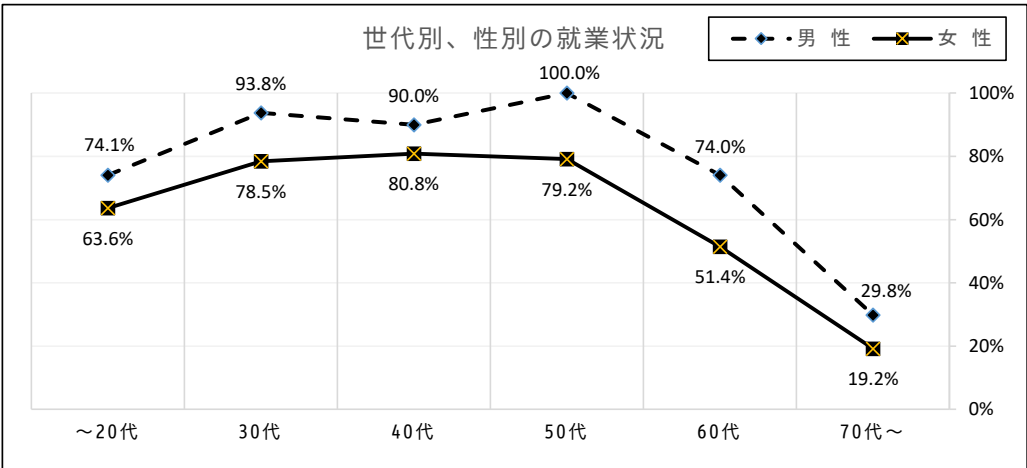
5 就業について

世代別、性別の就業状況について

性別・年代別の就業率は、男性では50代が100%と最も高く、次いで、30代 93.8%、40代 90.0%と続いている。  
女性では、40代が80.8%と最も高く、次いで、50代 79.2%、30代 78.5%、20代以下が 63.6%となっており、M字カーブの現象は解消されてきている。

問24

|      | 男 性 (人) |     | 女 性 (人) |     | 性別無回答 |     | 男 性     | 女 性   | 性別無回答 |
|------|---------|-----|---------|-----|-------|-----|---------|-------|-------|
|      | 実人数     | 就業数 | 実人数     | 就業数 | 実人数   | 就業数 | 就業率 (%) |       |       |
| ～20代 | 27      | 20  | 44      | 28  | 3     | 3   | 74.1%   | 63.6% | 100%  |
| 30代  | 32      | 30  | 65      | 51  | 1     | 1   | 93.8%   | 78.5% | 100%  |
| 40代  | 80      | 72  | 73      | 59  | 0     | 0   | 90.0%   | 80.8% | ----  |
| 50代  | 85      | 85  | 96      | 76  | 0     | 0   | 100.0%  | 79.2% | ----  |
| 60代  | 104     | 77  | 107     | 55  | 1     | 1   | 74.0%   | 51.4% | 100%  |
| 70代～ | 124     | 37  | 146     | 28  | 1     | 0   | 29.8%   | 19.2% | 0%    |
| 無回答  | 2       | 2   | 0       | 0   | 2     | 0   | 100.0%  | 0.0%  | 0%    |
| 計    | 454     | 323 | 531     | 297 | 8     | 5   | 71.1%   | 55.9% | 62.5% |

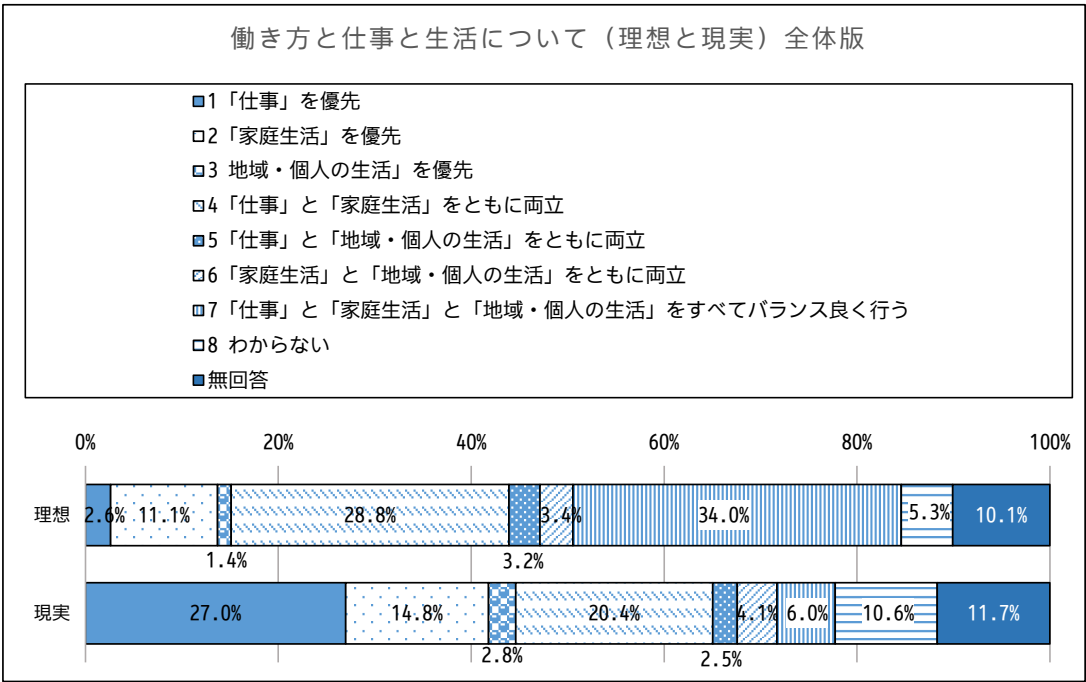
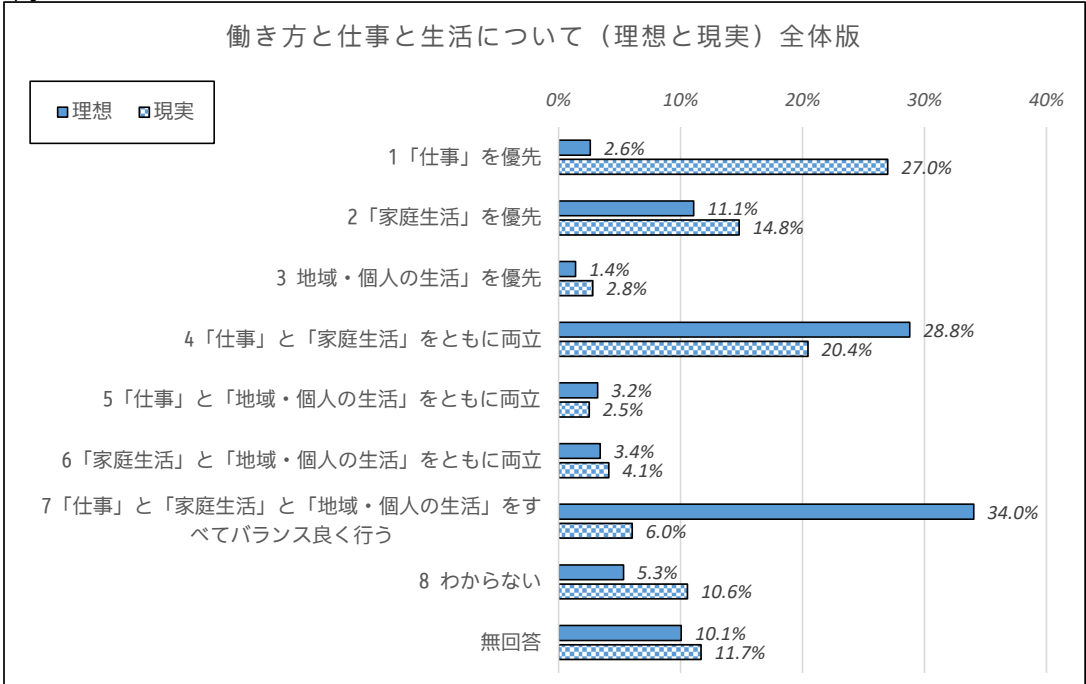


## 6 男女の働き方と仕事と生活の調和について

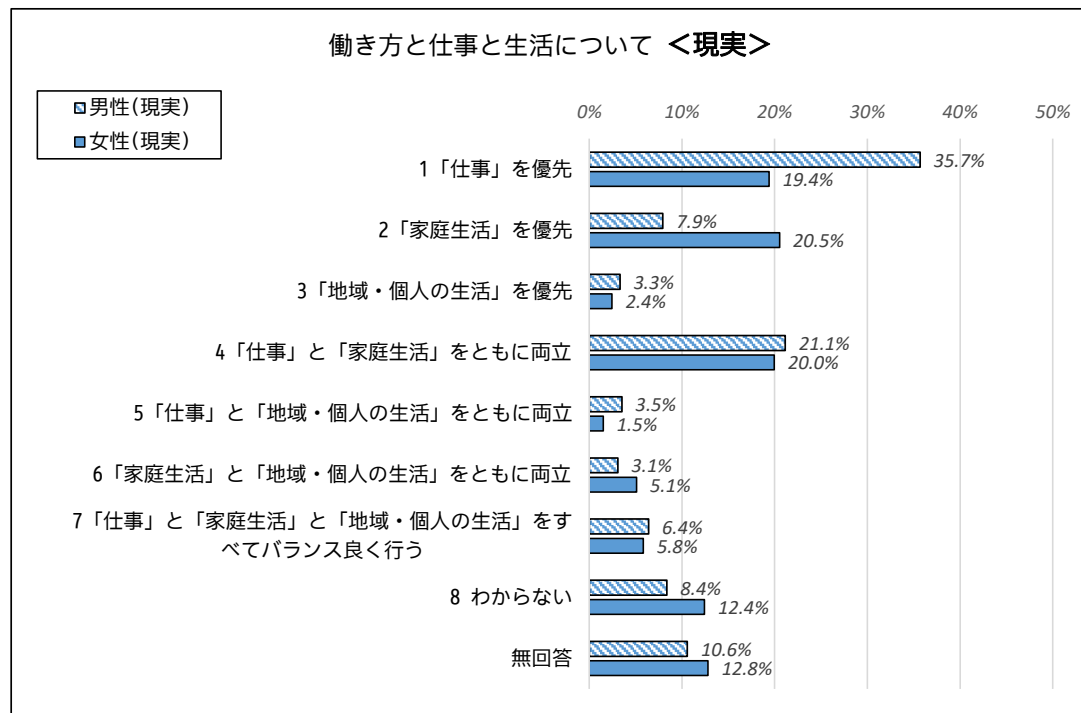
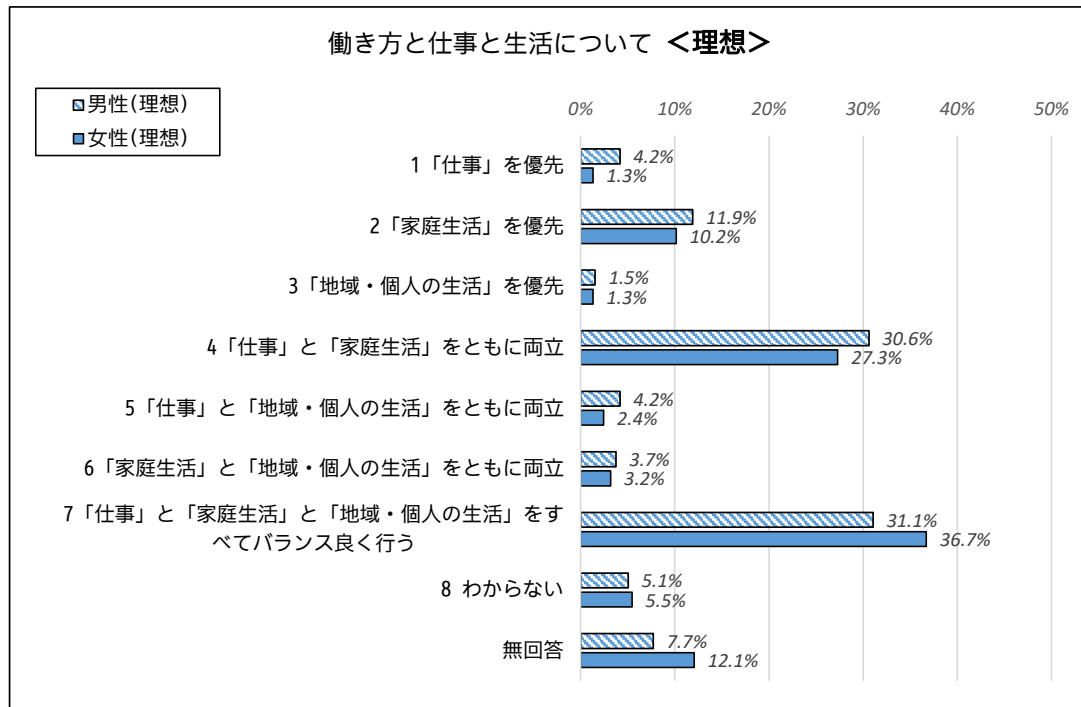
### ワークライフバランスに関する理想と現実について

全体では、理想は「7 仕事、家庭生活、地域・個人の生活をすべてバランス良く行う」が34.0%で最も高く、次いで「4 仕事と家庭生活をともに両立」が28.8%、「2 家庭生活を優先」11.1%と回答した割合が高い一方で、現実には、「1 仕事を優先」が27.0%で最も高く、次いで「4 仕事と家庭生活をともに両立」が20.4%、「2 家庭生活を優先」14.8%となっており、理想と現実には大きな違いがある。

#### 問27



男女ともに「7 仕事と家庭生活と地域・個人の生活をすべてバランス良く行う」を理想（男性31.1%、女性36.7%）としているものの、現実には、男性は「1 仕事を優先」が35.7%で最も高く、次いで「4 仕事と家庭生活をともに両立」が21.1%、女性は「2 家庭生活を優先」が20.5%が最も高く、次いで「4 仕事と家庭生活をともに両立」が20.0%と続いている。



---

# 男女共同参画に関する市民意識調査〈概要版〉 報 告 書

2025 (令和7)年3月発行

発行：郡山市市民部男女共同参画課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL：024-924-3351

FAX：024-921-1340

メール：danjokyoudou@city.koriyama.lg.jp

郡山市ウェブサイト：<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

---